

次 号 予 告

特集 確率モデルの躍動

企業の資金調達と流動化戦略 芝田隆志 (東京都立大学), 西原 理 (大阪大学)
空間点過程に対するスプラーの交換公式と無線ネットワークへの応用 三好直人 (東京工業大学)
ボアソン2項分布とその周辺—信頼性問題を中心に— 土肥 正・岡村寛之 (広島大学)
グローバル・クローズド・ループ・サプライ・チェーン・モデルの設計方法について
..... 開沼泰隆 (東京都立大学), スティーブ・ディズニー (エクセター大学)
不確実性下でのベイズ推定マルコフ決定過程 堀口正之 (神奈川大学)
レベニューマネジメントと需要関数の学習 佐藤公俊 (神奈川大学)

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧には、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。【ユーザー名】 XXXXXXXXXX 【パスワード】 XXXXXXXXXX

編集後記

●進化の達人であるウイルスに、進化のスピードでは全く敵わない人間が知能で対処する日々が続いています。もしウイルスが知能をもってくれていたら、毒性を強めて宿主を減らす戦略は為にならない、と说得もできるかもしれませんが、どうも話は聞いてくれなさそうです。などと冗談を言っているのも最前線で戦ってくださっている方々のお蔭ですね。

●オミクロン株の出現は、新型コロナウイルスのさまざまな変異株が発生した中で、現時点での宿主（人間）の行動による淘汰の結果として説明できたりするのでしょうか。仮にそうだとすると、毒性の強い変異株を淘汰し損なう人間の行動もあり得たりするのでは

うか。それとも淘汰の影響は軽微でどういふ変異が起こるかが圧倒的に優位なのでしょう。色々と素人な妄想はできても玄人な検証可能なモデルを作るのはなかなか容易ではなさそうです。

●そう考えていくと、どのような行動に着目して研究するにせよ、今回の特集で紹介されているような、さまざまなモデルの開発・検証を積み重ねていくことの大切さがこれまで以上にわかった気がしました。

●私個人にできることとして、せめて余計なことを考えずに早く寝て多少なりとも免疫を高めておこうと思います。

(井床利生)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 野々部 宏司 (法政大学)

特集担当編集委員 朝日 弓未 (東京理科大学)

委員 伊豆永 洋一 (九州大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 井家 敦 (神奈川工科大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 梅谷 俊治 (大阪大学), 大竹 恒平 (東海大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 猿渡 康文 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 山本 零 (慶應義塾大学), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和4年4月号 第67巻 第4号 通巻736号

代表者 田 口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。